

# スポーツ実践公開講座 20回記念パーティー開催報告

所長 佐竹 弘靖 (ネットワーク情報学部教授)

チーフ 平田 大輔 (文学部教授)

スポーツ研究所の中老年向けスポーツ実践公開講座が今年度20回を迎え、記念パーティーが12月5日、生田キャンパスで開催された。

同公開講座は「開かれた大学」を目指し1987年、生田キャンパス近隣住民を対象に始まった。指導はスポーツ研究所所属の教員があたり、体育会の学生もスタッフとして各競技をサポートしている。近年は5月から12月にかけて、バレーボール、バドミントン、テニス、ゴルフ、アクアスポーツ、ウォーキング&ジョギング、フットサル、アダプテッドスポーツなど数多くの競技種目を行っている。講座の開講式、閉講式に合わせてコンディションチェック(体組成測定、骨密度測定、推定血中ヘモグロビン濃度測定)と体力測定を行い、健康・体力の保持増進に努めている。

パーティー当日は受講生、教員、名誉教授ら約50人が出席。和やかに懇談し、節目を祝った。また、最後に参加者には専修大学グッズ

や懐かしい映像の入ったDVDをプレゼントした。

18年前から汗を流している八幡はるみさんは「教師を辞めて運動不足を感じ、友人に誘われて始めた。楽しんでスポーツが出来るのは素晴らしいこと。講師の中には五輪金メダリストがいるし、大学の施設を使えるところもうれしい」と充実した講義内容を話す(ニュース専修 第567号より)。

最後に、公開講座の継続にあたっては参加者の皆様の熱意とともに、所属教員の研究成果による科学研究費、タニタ助成金、本学助成金等数多くのご支援により、新しい知見を入れプログラムを更新しながら継続、運営することができた。関わりました皆様へのこの場を借りて感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます次第である。

